

市民の努力により再生した大松川ダム公園の芝桜

委員会審査報告

4つの常任委員会と一般会計予算特別委員会分科会で審査された、主な内容をお知らせします。

厚生

国保税、据え置きならず
基金取り崩すも、引き上げに

平成21年度特別会計補正予算案6件、平成21年度一般会計補正予算案2件、横手市国民健康保険条例一部改正案、陳情2件を審査しました。

主に人事異動に伴う予算の補正が大半でしたが、6月議会は「国保議会」といわれるように、今年度の国民健康保険税額が決まりました。

審査では、国の医療制度改革で、医療費の増加が避けられないなか、不況で国保の加入者は増える予想されること。また、比較的収納率の高い75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度に移行したこと。このため、国保税収納率の上昇は見込めず、財政調整基金を1億円取り崩しても国保税を上げざるを得ないという提案に、対策をどう講じるか論議され、採決では原案のとおり可決すべきものと決まりました。

◇国に国保制度充実を要望する

議案案を提出◇

市では国保の財政計画策定へ、

健診後の再検査受診率の向上を図るなど、対策を講じることとしました。一方、国に対し国民皆保険制度の充実を要望する意見書を提出することとし、厚生常任委員会案として本会議に提出することを決めました。

その他の議案は、介護保険や障がい者自立支援法等国の法規定のもとで、市の具体策について審査され、いずれも原案のとおり可決すべきものと決まりました。また、陳情2件は賛成多数で採択すべきものと決まりました。



健康の駅での健康教室

産業経済

特別会計への繰入額の変更1件、補正予算1件の計2件と、請

願3件が審査されました。

◇放置自転車整理再生事業◇

当局より、リサイクルした自転車は、施設の子供たちや、公共施設に無料で提供する予定である。色々な事業への利用方法については、今後調整していくとの答弁がありました。

◇B-1グランプリの進捗◇

当局より、B-1グランプリには、26団体の参加が予定されている。春から事務局を設け、関係事業者団体に対し、開催要綱についての説明を行った。6月中にはチラシやポスターが完成し、全国へ向けて発信するとの説明がありました。

◇緊急雇用対策の評価について◇

当局より、当地区の有効求人倍率は0.18である。緊急雇用対策はつなげる意味合いの事業であり、雇用の一助となつてはいるが、基本的には経済全体の回復が、雇用の鍵を握っているものと思われるとの説明がありました。

◇農村漁村活性化プロジェクト◇

当局より、旧増田東小学校、現在の狙半内地域センターは宿泊研修施設となる。2階は主に宿泊に使用し、1階は学習施設であるが、従来の地域センターとしても